

## 【学校規模適正化に向けた勉強会を開催】

昨年の西部地区地域こん談会で課題提起された「学校規模適正化」について、先月、西部地区の4自治会長と市教育委員会とで勉強会を開きました。

畑野小学校は、全校児童38名で、本年度から2年生（5名）と3年生（5名）で複式学級が始まっています。

来年度からは本梅小学校でも、また4年後には青野小学校も複式学級となる予測で、育親中学校区の3小学校ともに複式学級を抱える小規模校として共通する課題を有しています。

### 小学校児童数の推移

	S30	S50	S60	H7	H17	H27	R2
畑野小	93	37	94	448	201	53	38
本梅小	241	100	139	138	113	69	49
青野小	—	162	172	161	154	69	66
育親中	223	177	203	329	312	143	72

今後も少子化が進む中で、子どもたちにとってより良い教育環境を提供し、その環境を活かした望ましい学習・集団活動が形成されることを最優先にして学校規模適正化を考えていくこととなります。

子ども同士の強い結びつきや異学年との交流など、小規模校ならではのメリットがある一方で、体育や音楽などの集団活動に制限がかかって就学時や環境変化への対応に不安を有したり、複式学級での学習面や生活面に差が生じるなどの課題も踏まえて、今後、学校・PTA・地域自治会を集めた

協議会を設置して、「現状と課題」「適正化の方向性」「適正化方法の選択可能性」を明らかにして、より良い教育環境の下での魅力ある学校づくりについて考えていくこととなりました。

